

まちのニュース カメラアイ ~地域のお話をお届けします~

5/31
(水)



保育所児童が塩狩に植樹

保育所の年長児童25名が、塩狩峠一目千本桜にエゾヤマザクラ50本を植樹しました。

植樹の際は指導林家の吉田昭八さんが指導にあたり、子どもたちに「まっすぐ植えてね」と優しく教えていました。

また、上川総合振興局北部森林室と和寒町森林組合にもご協力いただき、苗木は北海道山林種苗協同組合から寄付していただきました。

5/24
(水)



フレンドパーク開会

総合型地域スポーツクラブわっさむフレンドパーク（委員長 合田 鉄雄）主催の小学生対象「フレンドパーク」の第1回目が5月24日に開催され、45名の小学生が元気に体を動かし汗を流しました。小学校の運動会前だったこともあり、徒競走に向けた早く走るコツや腕の振り方などのトレーニングが行われました。

月に2回水曜日の放課後に行いますので、きみも参加してみませんか。

5/26
(金)



6/3
(土)



剣淵までサイクリング

第2回目のドキドキクラブでは、朝9時に公民館を出発し、剣淵町の桜岡貯水池までサイクリングを行いました。

当日は非常に寒い天候でしたが、19名の子どもたちと、2人の保護者と一緒に元気いっぱい自転車をこぎ、往復24kmの道のりを走り切り、はつらつとした土曜日の朝を過ごしました。

自分でお米を育てよう

和寒小学校5年生28名が、字中和 西川直哉さんの水田で田植えを体験しました。

子どもたちは転ばないようにバランスを取りながら1本1本苗を植え、裸足で入る水田の感触に盛り上がっていました。

今回植えた品種は「ゆめぴりか」と「しおかり」の2種類で、今後も稲刈りから試食まで体験する予定となっています。



交通事故死ゼロを願い

町と交通安全協会が主催し、和寒町交通安全の集いを交流施設ひだまり前で開催しました。

会場には町内の交通安全関係団体や事業所など、子どもから高齢者まで約250名が集まり、交通安全少年隊の齊藤廉隊長に続いて全員で交通安全の誓いを読み上げました。

集いのあとは土別警察署交通課の指導のもと、旗波運動と啓発グッズの配布を行い、国道を通過するドライバーに交通安全を呼びかけました。



認知症キッズサポーター養成講座

和寒小学校5年生の授業で、認知症キッズサポーター養成講座が行われました。

講師は、講座を開催するための認定を受けている、ぐるーぶほーむおや里かんの鈴木健一郎施設長と町保健福祉センターのスタッフがつとめ、子どもたちにもわかりやすいよう紙芝居を使い、認知症の特徴や、認知症の方にどのような対応をすれば良いかなどの学習が行われました。

鈴木施設長は「子どものころから認知症について学ぶことで、地域のみんなで支えていくという意識を持ってほしい。こういう機会をどんどん増やしていきたい」と話していました。



夏がやってきた！B & G プールオープン

6月10日（土）にB & G プールがオープンしました。オープン初日から多くのご利用がありました。7月にはプールで催しがたくさんありますので、多くの参加をお待ちしています。

B & G プールは9月10日（日）までオープンしています。この夏は、家族そろってプールに行こう！



招魂祭で約60名が祈り

保健福祉センター横の忠魂碑で、戦没者慰霊招魂祭が執り行われました。

今年で戦後72年が経ちましたが、会場には戦没者の遺族をはじめ、来賓など約60名が参拝に訪れ、247名の戦没者の冥福とこれからの平和を祈り献花しました。